

令和2年度 第4回 堺市 SDGs 未来都市推進本部会議 議事要旨

日時 令和3年2月9日（火）10時00分～10時20分

場所 堺市役所本館3階 大会議室

議題 ・堺市 SDGs 未来都市計画について

・（仮称）さかい SDGs 推進プラットフォームについて

<市長>

本日の会議で、新しい SDGs 未来都市計画が固まる。17のゴールはもちろんのこと169の全てのターゲットを確認し策定を進めてきた。SDGs にかける堺市の思いが詰まった計画になったと考えている。一方で、良い計画ができて目標が達成できなければ意味がない。来年度は、政策企画部に計画推進担当課長、SDGs 推進チームを新設し、全庁を挙げて取り組む体制を構築する。

昨日、財政危機宣言を発表した。SDGs 同様に、堺市の財政も持続可能でなくてはならない。計画の KPI を達成するためには新しい取組も必要になるが、既存事業を継続的に見直し、柔軟に組み替え、KPI の達成に向けて限りある財源を効果的に活用してもらいたい。

また、計画の推進には、市だけでなく、市民、企業、団体の方々の協力も必要である。今回、新たにプラットフォームを立ち上げる。多くの方々と思いを一つにし、協力いただきながら KPI の達成をめざしていく。

<市長公室長>

本日は、パブリックコメントを踏まえ、固まった計画内容を共有する。また、計画の推進の考え方、推進体制として設立する（仮称）さかい SDGs 推進プラットフォームについて、ご意見を伺いたい。まず、堺市 SDGs 未来都市計画について、事務局より説明する。

政策企画部より資料説明

<市長公室長>

計画は、これまでの本部会議でも確認いただいております。堺市基本計画2025との整合のため若干の変更を行ったが、前回の本部会議から大きく変更はしていない。ご意見がないようなので、次期堺市 SDGs 未来都市計画は本案にて確定とする。

続いて（仮称）さかい SDGs 推進プラットフォームについて、事務局より説明する。

政策企画部より資料説明

<市長公室長>

来年度の推進体制、公民連携の中核を担うプラットフォームについて、ご質問、ご意見をいただきたい。

<中野副市長>

SDGs 貢献メニューの具体的なイメージはあるか。4月までにどのような作業をして、メニューを出していくのか、現時点で考えがあれば教えてもらいたい。

<政策企画部>

4月までに、各局・各区から提案を募り、SDGs 貢献メニューを本部会議で共有したいと考えているので、積極的な提案をお願いしたい。

<市長公室長>

全ての部局で企業や団体と関わりがあり、業務の中で公民連携や民間主体で SDGs に参画いただける可能性はたくさんあると思う。まずは、各局・各区の業務で、公民連携や民間主体で SDGs に参画いただけるものを「プロジェクトチーム」「SDGs 貢献メニュー」として、提案いただきたい。

<市長>

SDGs については、以前よりもテレビなどで取り上げられることが増えている。大企業も、従来の社会貢献活動を SDGs と関連付けたり、資料に SDGs のロゴを掲載することが多くなっている。社会的な関心は高まりつつある。

一方で、SDGs 推進のキーは中小企業だと考えている。中小企業は、まずは自社の成長や従業員の生活を守ることが優先とならざるを得ないため、SDGs を意識することは難しいと思う。

しかし、SDGs は一人ひとりの意識によって、社会の進み方を変えることができるものだと思っている。市の事業の多くは SDGs に当てはまっている。大企業より圧倒的に多い中小企業が SDGs に一歩踏み出していただくことで、市の事業が進めやすくなり協力も得やすくなると考えている。各局・各区で企業や団体の皆様と接する時には、SDGs を話題にして、何ができるかを一緒に考えてもらいたい。

また、SDGs 未来都市計画を広く外部へ発信していくことで、市政の旗印になると考えている。SDGs はこれからさらに広がっていく。市民や企業の皆様にも、SDGs の旗印のもと、市政と同じ方向性でご協力いただけるように私自身も率先して PR していくので、各局・各区においても PR をお願いする。

<市長公室長>

それでは、計画の推進体制、プラットフォームについて、ご説明した内容に沿って進めていくこととする。